

| 種別 | シーズ番号 | 分野 | タイトル | 研究者 | シーズ概要 | 特許番号等 | 掲載日 |
|----|-------|------------------|---|---|---|---------------|------------|
| 特許 | 1983 | ライフサイエンス | サイトセルチャンバー®コストを抑えたガラスボトム観察のためのリユースブルディッシュ | 教授 理工学術院 | ◆多サンプル+ガラスボトムディッシュ =コスト高 ◆ディッシュのリユースブル化 ◆細胞播種種は丸カバーガラスを採用 | 特開2018-200458 | 2019/01/11 |
| 特許 | 1929 | ライフサイエンス | 展開型車輪及びこれを利用した走行装置 | 教授 理工学術院 創造理工学部 | | 特開2018-184072 | 2018/12/14 |
| 特許 | 1907 | ライフサイエンス | アストロサイト分化促進用組成物 | 教授 理工学術院 | | 特開2018-154589 | 2018/11/13 |
| 特許 | 1903 | ライフサイエンス | 最適特性を有する非天然型タンパク質の製造方法 | 教授 理工学術院 | | 特開2018-143172 | 2018/10/08 |
| 特許 | 1889 | ライフサイエンス | ニューレグリン1α様活性を有するポリペプチド及び糖尿病治療用医薬組成物 | 教授 理工学術院 先進理工学部 | | 特開2018-131413 | 2018/09/12 |
| 特許 | 1860 | ライフサイエンス | フェルラ酸誘導体含有組成物及びその製造方法 | 教授 理工学術院 | 本発明は、フェルラ酸誘導体を含有する医薬組成物及び食品組成物等の組成物及びその製造方法に関するものである。 | 2018-70518 | 2018/07/13 |
| 特許 | 1808 | ライフサイエンス | 皮膚表面pHの測定法 | 特任研究教授 理工学術院 | ■動物（ヒト、イヌ、ネコ、サルなど）の皮膚表面のpHを測定する方法。 | 2017-203731 | 2016/06/06 |
| 特許 | 1324 | ライフサイエンス 情報通信 | 運動に対する内発的な動機付けを与え、継続的な運動を支援するシステム | 教授 理工学術院 創造理工学部 | 運動を行う使用者に様々な音が提示され、当該音の高低に合わせて使用者が運動を行う。すると、システムでは、音の高低に合った動きか否かを判定し、体の各部位に対して、経験的データから、動きの偏重に応じた重み付けをした上で、使用者に、動きの不足している部位のトレーニングを誘引する。 | 特許第5988137号 | 2014/02/18 |
| 特許 | 1125 | ライフサイエンス | 会話ロボット | 教授 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科 | グループの会話に参加して会話のみならずその場の雰囲気にならに溶け込める動作のできるロボットに関する技術。このロボットは、複数の人間が会話している輪の中に、話者に対する直接の聴者だけでなく、会話に関心を持っている第三の聴者として違和感なく加わることができる。そのために、ロボットの視線を話者に向けながら、体の向きを会話の輪に向けてことにより自然な動きを実現している。高齢者の生活支援などへの応用が期待できる。 | 第5751610号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 1117 | ライフサイエンス | JAK2 遺伝子の変異解析方法 | 教授 理工学術院 先進理工学部 生命医科学科 | 慢性骨髄増殖性疾患(MPD)に見られるJAK2遺伝子変異の測定方法として蛍光プローブを用いる。高感度、簡便、低コスト、ハイスループットに定量可能。医薬品のスクリーニング方法などへの応用も期待される。 | 第5787304号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 1069 | ライフサイエンス | 電界効果トランジスタ、その製造方法及びバイオセンサ | 教授 理工学術院 基幹理工学部 | 電解質溶液中で動作する電界効果トランジスタ型のセンサにおいて、ソース・ドレイン電極をTiで形成し、かつ電解液に短絡しないよう前記Ti電極にTiO2膜を形成する。 | 第5366215号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 961 | ライフサイエンス | 三次元シースフロー形成構造及び微粒子集束方法 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 | マイクロ流体デバイスを用いたセル/オルガネラソーサ開発をシースフロー構成で行う。従来技術よりもデバイスの作成工程が少なく、加工の高い再現性と量産性が実現可能となる。 | 第5700189号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 939 | ライフサイエンス | 模擬狭窄血管及びその製造方法 | 教授 理工学術院 大学院先進理工学研究科 共同先端生命医科学専攻 | 血管が石灰化したことによる狭窄病変状態をモデル化した人工血管およびその製造方法に関する発明。シリコンに炭酸カルシウム粉末を混ぜてモールドの狭窄部に塗布し、ポリエチレン樹脂製チューブで被覆した後、チューブモデル全体をシリコンで塗布することによって、実際のヒトの狭窄血管に近い弾性を得られる。 | 第5136993号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 935 | ライフサイエンス | バイオセンシング方法及び固定化方法 | 特任研究教授 理工学術院 | 有機単分子膜を形成したディスク基板に生体物質を結合させ、磁気あるいは光磁気ヘッドによりスキャンして二次元検出を行う。種々のサンプルを簡便に同時測定可能。 | 第4911639号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 815 | ライフサイエンス | 穿刺プランニング支援装置及びそのプログラム、並びに刺入条件判定方法 | 教授（当時） 理工学術院 創造理工学部 総合機械工学科 | 穿刺治療において、生体組織表面に対する針の刺入位置や刺入角度等の刺入条件の良否をシミュレーションにより総合的に判定し「期待値」として求めることにより、さまざまな穿刺状態で精度の高い穿刺軌道のプランニングを行うことが可能となる。 | 第5105330号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 814 | ライフサイエンス | 穿刺焼灼プランニング支援装置及びそのプログラム、並びに穿刺焼灼条件判定方法 | 教授（当時） 理工学術院 創造理工学部 総合機械工学科 | 病変部位の変化の程度やその周囲の温度分布状態の変化を測定することにより、穿刺療法における最適な電極針の刺入条件や針への供給電力量を決定する。本発明により、病変部位の周囲組織に影響を与えることなく、ターゲットとなる病変部位を確実に壊死させることが可能となり、穿刺療法の精度向上に貢献する。 | 第5157024号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 810 | ライフサイエンス | 磁気微粒子包含細胞及びその製造方法 | 特任研究教授 理工学術院 | 本発明は、免疫細胞療法などの医学的治療、磁気共鳴画像診断(MRI)などの医療診断などに用いることができる磁気微粒子包含細胞に関するものである。本発明により、小粒径の磁気微粒子が分散性よく内包された磁気微粒子包含細胞を効率よく製造することができる。本発明の磁気微粒子包含細胞は、磁気誘導を利用した温熱療法等にも応用可能である。 | 第5476620号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 659 | ライフサイエンス | シミュレーション装置、制御装置及びこれらを用いた手術用ロボットの制御システム、並びにシミュレーション装置用のプログラム | 教授（当時） 理工学術院 創造理工学部 総合機械工学科 | 本発明は低侵襲手術を行う手術支援ロボットの動作制御に関するものである。マニピュレーターがターゲットとなる臓器等の生体組織にアプローチする際、ターゲットに加わる力を把握しながらマニピュレーターの動作を制御する。血管や神経等の特定部位に過負荷が掛かることを回避し、ロボット手術中の特定部位の不意な損傷を防止することができる。 | 第4636618号 | 2013/12/25 |

| 種別 | シーズ番号 | 分野 | タイトル | 研究者 | シーズ概要 | 特許番号等 | 掲載日 |
|----|-------|----------|---|--------------------------------------|--|---------------|------------|
| 特許 | 617 | ライフサイエンス | 好中球機能検査システムおよび好中球機能検査方法 | 教授 スポーツ科学学術院 スポーツ科学部 | 走化性細胞・生物を分離可能なハイドロゲルと化学発光法を用いた好中球機能検査システムを提案している。本システムは、全血を用いて、簡便に、寿命の短い好中球の機能（遊走能・活性酸素産生能）を定量的に測定可能である。現在、リコピンやペクチンなどに対する好中球の抗酸化力測定等を検討している。 | 第4869020号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 487 | ライフサイエンス | 穿刺制御装置、穿刺ロボット及び穿刺制御用プログラム | 教授（当時） 理工学術院 創造理工学部 総合機械工学科 | 本発明は、ロボットを使って生体組織に穿刺を行う際に用いられる穿刺制御装置、穿刺ロボット及び穿刺制御用プログラムに関するものである。本発明により、当該生体組織の特性を考慮しながら針の動作を予測してその進路を決定することができる。このため、医師の経験と動に全て頼らなくても穿刺のターゲットに針を確実に到達させることが可能となる。 | 第4390146号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 452 | ライフサイエンス | 血液シミュレータ及び流れ変換装置 | 教授 理工学術院 創造理工学部 総合機械工学科 | 大動脈流と流れ状態が異なる冠動脈流を正確に再現でき、かつ、当該流れの状態で適用される人工臓器、医療機器、手術法等に対する各種評価を正確に行うことのできるシミュレーション装置。この装置により、動脈硬化等の治療に用いるステント（血管拡張具）の性能評価や冠動脈の吻合に関する評価等の各種評価を行う際に、人体実験や動物実験を避けることが可能になる。 | 第4587776号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 390 | ライフサイエンス | 補聴処理方法及びそれを用いた補聴器 | 理工学術院 国際情報通信研究センター | 本発明は、難聴者の聴神経興奮パターンが、健聴者の聴神経パターンと同一になるように入力音声信号を補正して音声に変換することで、周波数選択性の劣化が補償され、違和感なく健聴者と同じような感覚で環境音を聴取することができる技術である。雑音下での文章理解度が改善され、快適な装用が可能のため、補聴器の普及に寄与する。 | 第4127680号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 173 | ライフサイエンス | 流体循環装置 | 教授 理工学術院 創造理工学部 総合機械工学科 | 複数個（3～4個）の拍動流ポンプと1つの大動脈弾性特性を模倣したコンプライアンスチューブで構成される完全大気非接触型の循環回路。 | 第4165691号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 130 | ライフサイエンス | マッサージロボット及びその制御プログラム並びに体部位特定用ロボット | 教授 理工学術院 | 本発明は、マッサージの対象部位の状態を正確に把握して、施術者が行うマッサージに近いマッサージを自動的に行うことのできるロボットに関する。本ロボットでは、顔面内の唾液腺等のマッサージ部位を自動的に特定して、医師等の施術者が行う顔面マッサージに近い動きを実現することができる。 | 第5097907号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 56 | ライフサイエンス | 表在性化学種測定方法および測定装置 | 教授 理工学術院 先進理工学部 電気・情報生命工学科 | 生体表面に光を照射し、その反射光のスペクトル分析を行うことにより、生体表層の血流状態などを測定する方法とその測定装置に関する技術である。本発明は、様々な病変に対応でき、さらに、病変の検出誤りが少なくなるような皮膚表面の観察データの処理方法とフィルターを不要とする簡単な構造の測定装置を提供する。 | 第4721144号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 8 | ライフサイエンス | 人工冠動脈及び冠動脈ステント性能評価シミュレータ | 教授 理工学術院 創造理工学部 総合機械工学科 | 生体機能を模した冠循環シミュレータであり、安全かつ効果的な冠動脈ステント等の冠動脈機能確保物の評価や検査用に使用する。 | 第4166905号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 2099 | 情報通信 | 水中通信装置及び水中通信方法 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 | | | 2018/10/08 |
| 特許 | 2060 | 情報通信 | 検出方法及び検出装置 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 | | | 2018/07/13 |
| 特許 | 334JP | 情報通信 | ハードウェアトロイの検出方法、プログラム、および装置 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 | | 2016-80380 | 2018/05/17 |
| 特許 | 1965 | 情報通信 | 口唇アニメーション生成装置及び口唇アニメーション生成方法 | 教授 理工学術院 先進理工学部 | | | 2018/01/15 |
| 特許 | 1851 | 情報通信 | デュアルクロックを用いた、H. 265のSAO（サンプル適応オフセット）の決定 | 教授 理工学術院 大学院情報生産システム研究科 | | 2018-61094 | 2016/11/02 |
| 特許 | 1613 | 情報通信 | データ送信システム及び方法 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 | | 特開2016-158040 | 2016/11/01 |
| 特許 | 1795 | 情報通信 | ステレオマッチングの処理方法、処理プログラムおよび処理装置 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 | | 2017-162024 | 2016/05/12 |
| 特許 | 1359 | 情報通信 | 見るだけで触感が伝わるシステム | 教授 理工学術院 基幹理工学部 表現工学科 | 仮想物体の立体映像と、ユーザの身体部位との重量表示を行うことで、視覚によって「触錯覚（実際には触れていないのに触覚を感じる）」を誘発する、触錯覚表示装置。ヒトの認知特性である、視覚と触覚という異なる感覚間の相互作用（クロスモーダル）を利用している。 | 特開2014-71546 | 2014/05/14 |
| 特許 | 1335 | 情報通信 | 記憶度推定装置および記憶度推定プログラム | 教授 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科 | ユーザが入力画面に解答を手書き入力する際に、入力開始までの時間や解答終了までの書き直し（消去回数）等の所定の特徴量を取得し、統計処理を用いて一般ユーザの記憶度に基づく特徴量の傾向との比較を行い、比較結果を基にユーザが解答を完全に記憶しているか、迷いながら正解したか等を判定することで、ユーザの記憶度を推定する。 | 特許第6032638号 | 2014/03/26 |

| 種別 | シーズ番号 | 分野 | タイトル | 研究者 | シーズ概要 | 特許番号等 | 掲載日 |
|----|-------|------------|---------------------------------------|--------------------------------------|--|-------------|------------|
| 特許 | 1152 | 情報通信 | 通信分類装置及び方法 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科 | 本発明は、過去に観測されなかった未知のアドレスにも対応可能なアドレスの評判判定を行い、結果として悪意のある通信の検出をする。本発明は通信を発生させた端末の判定対象アドレスを取得し、該判定対象アドレスに固有な特徴を特徴ベクトルとして抽出する。悪意性の有無を示すラベルが付与されたアドレスのリストを格納した訓練データ記憶手段に格納する。特徴ベクトルに対して教師付機械学習を適用して、訓練結果を取得する。訓練結果から通信が通常の通信か悪意のある通信かを確立的に判定する。 | 第5682089号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 1131 | 情報通信 | 周波数通倍器 | 教授 理工学術院 大学院情報生産システム研究科 | 主として通信機に使用される周波数通倍器において、トランジスタをピンチオフ付近で動作させた場合に発生する整数倍の高調波を取り出す回路に関する発明。 基本波抑圧回路の定数を調整することで、インピーダンス整合回路を一部省略することが可能。 | 第5646302号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 1116 | 情報通信 | 立体映像呈示装置 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 表現工学科 | レンチキュラー等の立体（3D）映像呈示方式を含む複数の画像提示方式と画像提示面を組み合わせることによって、立体（3D）映像を自然かつ精緻に表現できるようにした立体映像呈示装置。 | 特許4856775号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 1009 | 情報通信 | 項目選択方法および装置 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 表現工学科 | 3D映像は映画、携帯電話、ゲーム等に取り入れられ、多くのコンテンツや機器類が市場へ導入されている。この発明は、視聴者の眼の焦点深度に着目し3D映像を調整・再生するための技術であり、視聴者が違和感・疲労感を感じずに3D映像を鑑賞することが可能となる。 | 第5505881号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 959 | 情報通信 | 測距装置及びそのプログラム、並びに測距システム | 教授（当時） 理工学術院 創造理工学部 総合機械工学科 | 内視鏡で撮像されたステレオ画像を用いて、内視鏡先端から臓器までの距離を自動的に求める技術。 予め記憶された色彩模様パターンとの照合から臓器の特定を行い、ステレオ画像の左右マッチングを行う。 | 第5283015号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 445 | 情報通信 | 立体映像呈示装置 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 表現工学科 | 画像呈示面の傾斜角度や観察者から呈示面までの視距離など、再生時の環境の変化に対応した画像呈示制御を実時間で行うことで、立体映像を自然かつ精緻に表現する装置を提供する。従って、観察者に対して一方的に立体映像を呈示するのではなく、観察者の動きや操作に応じて、インタラクティブ性を備えた最適な立体映像を呈示することができる。 | 第4975256号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 409 | 情報通信 | 乗算剰余演算器及び情報処理装置 | 教授（当時） 理工学術院 大学院情報生産システム研究科 | 近年のBtoB、BtoC等の電子商取引の拡大に伴い、高い秘匿性の点で注目される公開鍵暗号方式において、暗号化及び復号化のために実行される乗算剰余演算（複数ビット法に基づく）を行う方式に関する技術。従来技術の課題であった乗算剰余演算に要する演算時間を短縮すると共に、回路規模の大幅な削減を実現できる技術を提供する。 本発明によって、携帯電話機、PDA、パーソナルコンピュータやサーバ装置等の近年の情報処理装置の普及に伴ってニーズの高まる、処理性能が高く、かつ低コストなLSI製品が実現可能となる。 | 第4170267号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 315 | 情報通信 | 立体映像呈示装置 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 表現工学科 | 光学補正を行い、立体映像観察時の調整と輻湊の不整合を軽減する立体ディスプレイシステムを提供する。ソフトウェアにより呈示された立体像の再生位置に同期して画像呈示面を移動させる。 | 第4549661号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 314 | 情報通信 | プロセスの状態類似事例検索方法および状態予測方法並びに記憶媒体 | 教授 理工学術院 先進理工学部 電気・情報生命工学科 | 本発明は、高炉などの複雑、非線形かつ非定常なプロセスの操業中に現在の操業状態と類似の過去事例を高速に検索し、プロセス将来状態の予測を的確に行い、かつ更新の不要なオンライン予測手法を提供する技術である。 | 第4268500号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 291 | 情報通信 | プロセスの状態類似例検索および状態予測方法並びに記録媒体 | 教授 理工学術院 先進理工学部 電気・情報生命工学科 | 複雑、非線形、かつ非定常プロセスにおいて、現在の操業状態と類似の過去事例を高速・高精度に検索する方法を提供する。更に、本発明による精度のよい将来予測は、今後の操業アクション決定のための重要なガイダンスとなり、操業の安定化に大きく寄与する。 | 第4307129号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 139 | 情報通信 | 計測装置 | 教授（当時） 理工学術院 理工学術院総合研究所 | 本発明は、道路周辺の地物の位置を計測する装置であり、MMS（モービルマッピングシステム）を用いて白線以外の道路上、道路脇の地物の位置が計測可能となる。特に、従来のMMSのみでは計測が困難であったキロポストのような幅細の地物やガラスのような鏡面反射性の地物についても高精度に位置計測が可能になる。 | 第4344869号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 97 | 情報通信 | 語学学習システムおよびプログラム | 教授 文学学術院 文学部 | オンライン語学教育において、マウスにより単語を指定し、これをドラッグ&ドロップで移動する間に音声で発音を出力することにより、ヒアリングを中心とした語学教育の効率を向上する。 | 第3962426号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 94 | 情報通信 | 文章評価装置及び文章評価プログラム | 教授 理工学術院 創造理工学部 英語教育センター | 英作文の解答文の評価を、実情に沿って客観的にコンピュータ化して行う学習システム。英作文の正解文と解答文の間で、同一位置における単語の同一性の判断のみならず、他の独自の要素により、多様な評価を行う。 | 第4165898号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 82 | 情報通信 | 立体映像信号の編集方法、及び立体映像撮影用のビデオカメラの光学アダプタ装置 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 表現工学科 | 立体映像の入力／編集方式についての発明であり、1台のカメラを時分割で左右の映像を取り込み、それぞれの映像をソフトで統合管理する。これにより、立体映像のズーム、回転等の映像効果を安価に、柔軟に実現できる。 | 第4617024号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 1334 | 環境 社会基盤 | 高感度コンプトンカメラ | 教授 理工学術院 先進理工学部 応用物理学科 | 高感度で容易に携帯可能なガンマ線撮影用のコンプトンカメラです。 | 特許第5991519号 | 2014/06/19 |
| 特許 | 1102 | 環境 社会基盤 | アルミニウム合金選別システム | 教授 理工学術院 創造理工学部 | 合金系別にアルミニウム合金を判別し回収出来るシステムです。アルミニウムあるいはアルミニウム合金は、省資源化と低コスト化の観点からリサイクルされています。迅速かつ大量にアルミニウムおよびアルミニウム合金を他の金属から選別して回収する中で、アルミニウム合金は添加される金属ごとに合金種が異なり、その用途も異なるために合金系別にアルミニウム合金の判別そして回収が必要です。 | 第5562193号 | 2014/06/18 |

| 種別 | シーズ番号 | 分野 | タイトル | 研究者 | シーズ概要 | 特許番号等 | 掲載日 |
|----|-------|--------------------|---|--|--|---------------|------------|
| 特許 | 149JP | 環境 | 重金属不溶化剤 | 山崎 淳司 教授 理工学術院 創造理工学部 環境資源工学科 | 天然鉱物由来の新しい重金属溶出抑制剤、還元機能を有する為、6価クロム、砒素、セレンなどの溶出抑制にも利用できる。 | 第5697334号 | 2014/06/10 |
| 特許 | 59JP | 環境 ナノ・材料 | NLDHによる高度陰イオン吸着システム | 山崎 淳司 教授 理工学術院 創造理工学部 環境資源工学科 | NLDHは層状複水酸化物(ハイドロタルサイト:LDH)の一種ですが、結晶子をナノサイズに調製することで陰イオンの交換性能を飛躍的に向上させた新材料です。通常のイオン交換樹脂が有機の高分子化合物であるのに対し、NLDHは無機化合物であり、環境にもやさしく安全です。ヒメダカ、マウス試験による安全性確認済みです。 | 第4036237号 | 2014/06/10 |
| 特許 | 692 | 環境 ライフ サイエンス | 油脂分解性微生物及びそれを用いた油脂含有廃水の処理方法 | 客員教授(当時) 理工学総合研究センター | 本発明は、厨房等からの廃水中に含まれる動植物性油脂を効率よく分解することが可能な新規微生物及びそれら微生物が産出する酵素、及び油脂含有廃水の処理方法に関するものである。広範囲な動植物性油脂・油に対して十分な油脂分解効果を有するとともに、特にラードや低温環境下においても優れた油脂分解能を発揮するため、ラードを多用するレストランや寒冷地のレストラン等において効果的な技術である。 | 第4566207号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 1976 | ナノ・材料 | 電子線利用微細光学パターン作製法 | 教授 理工学術院 先進理工学部 | ・電子線照射によりナノスケール光学パターンを作製・高分子膜を原料とし特異な光学特性を発現・電子線照射量の調整により発光特性の制御を実現 | | 2018/06/12 |
| 特許 | 1961 | ナノ・材料 | 立体型櫛型電極およびその製造方法 | 講師 付属機関・学校 高等研究所 | | | 2018/05/17 |
| 特許 | 2039 | ナノ・材料 | ノーマリオフ動作ダイヤモンド電力素子及びこれを用いたインバータ | 教授 理工学術院 基幹理工学部 | | 特開2018-148214 | 2018/04/18 |
| 特許 | 2018 | ナノ・材料 | 蓄電デバイス用セパレータ及びその製造方法、蓄電デバイス用一体構造物及びその製造方法 | 教授 理工学術院 先進理工学部 | | | 2018/03/26 |
| 特許 | 2017 | ナノ・材料 | 柔軟導電膜及びその製造方法 | 教授 理工学術院 先進理工学部 | | | 2018/03/26 |
| 特許 | 1999 | ナノ・材料 | 圧電薄膜フィルムを用いた安価な振動発電素子 | 上級研究員 研究院(研究機関) | 課題・セラミック系圧電材料(PZT等)は機械的強度が脆い・高分子系圧電材料はフレキシブルで丈夫だが出力インピーダンスが高い・高分子系圧電材料は高電圧(1000V以上)による分極処理が必須解決手段・圧電POLYMER溶液のスピンコートによる薄膜化・インクジェットプリンタを用いた電極形成・分極処理を不要に | | 2018/02/19 |
| 特許 | 1975 | ナノ・材料 | 生体埋め込み型の無線給電型発光システム | 客員主任研究員 付属機関・学校 | | | 2018/01/15 |
| 特許 | 1971 | ナノ・材料 | ラマン分光測定装置及びラマン分光測定方法 | 客員上級研究員 | | | 2017/10/24 |
| 特許 | 1962 | ナノ・材料 | 生体用電極および生体用電極の製造方法 | 客員主任研究員 付属機関・学校 | | | 2017/10/24 |
| 特許 | 1944 | ナノ・材料 | 物体マーキング用高分子薄膜およびその製造方法、物体測定キット、物体の測定方法 | 客員主任研究員 付属機関・学校 | | 特開2019-10151 | 2017/07/31 |
| 特許 | 1931 | ナノ・材料 | 組電池、電池モジュールおよび電池モジュールの評価方法 | 特任研究教授 理工学術院 | | | 2017/06/23 |
| 特許 | 1923 | ナノ・材料 | トランス及び該トランスを用いたレクテナ | 准教授 理工学術院 先進理工学部 | | 特開2018-190800 | 2017/06/23 |
| 特許 | 1936 | ナノ・材料 | 半導体センシングデバイス | 特任研究教授 理工学術院 | | 特開2018-189484 | 2017/06/23 |
| 特許 | 1870 | ナノ・材料 | 二次電池 | 教授 理工学術院 先進理工学部 | | | 2017/03/10 |
| 特許 | 1843 | ナノ・材料 | トランジスタの製造方法及びセンサ素子 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 | | 特開2016-178342 | 2017/03/06 |
| 特許 | 1659 | ナノ・材料 | カーボンナノチューブの製造装置 | 教授 理工学術院 先進理工学部 | | 特開2016-153353 | 2017/03/06 |
| 特許 | 1624 | ナノ・材料 | 金属材の接合方法 | 上級研究員 研究院(研究機関) | | 特開2016-107290 | 2017/03/06 |
| 特許 | 1618 | ナノ・材料 | テーパ光ファイバの製造方法 | 教授 理工学術院 先進理工学部 | | 特開2016-153850 | 2017/03/06 |
| 特許 | 1604 | ナノ・材料 | ナノカーボン基材の製造方法およびナノカーボン基材 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 | | 特開2016-141604 | 2017/03/06 |
| 特許 | 1827 | ナノ・材料 | 曲げ変形および伸縮変形可能な電子デバイス | 准教授 理工学術院 基幹理工学部 | | 2017-220555 | 2016/07/05 |

| 種別 | シーズ番号 | 分野 | タイトル | 研究者 | シーズ概要 | 特許番号等 | 掲載日 |
|----|-------|---------|---|-------------------------------------|---|---------------|------------|
| 特許 | 1828 | ナノ・材料 | 視覚的質感提示デバイスおよび視覚的質感提示方法 | 准教授 理工学術院 基幹理工学部 | | 2017-219681 | 2016/07/05 |
| 特許 | 1782 | ナノ・材料 | 電力素子 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 | | 特開2016-157932 | 2016/04/08 |
| 特許 | 1390 | ナノ・材料 | リチウム二次電池活物質 | 特任研究教授 理工学術院 | 充放電サイクル特製の良いリチウム二次電池活物質の製造方法を提供する。 | 特開2014-135239 | 2015/03/11 |
| 特許 | 1379 | ナノ・材料 | 電気めっき液、リチウム二次電池用活物質の製造方法、及びリチウム二次電池 | 特任研究教授 理工学術院 | 充放電サイクル特性の良いリチウム二次電池用活物質を安定して成膜できる電気めっき液を提供する。 | 登録第6057208号 | 2015/03/11 |
| 特許 | 1729 | エネルギー | 海洋鉱物資源の調査装置 | 特任教授(当時) 理工学術院 創造理工学部 | 海底下の金属鉱物資源を電磁探索する装置である。 | | 2015/10/23 |
| 特許 | 1129 | エネルギー | リチウム二次電池用活物質、リチウム二次電池用負極、およびリチウム二次電池 | 特任研究教授 理工学術院 | 電析法で作製したSi、O、Cを主成分とするアモルファス膜を負極活性物質として集電体に形成することにより、Liイオン二次電池のサイクル特性(放電容量保持率/cycle)が大幅に改良される。めっき形成のため製法も簡単である。 | 第5697078号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 1123 | エネルギー | 多数台連系した太陽光発電システムの出力抑制回避方法及びその装置 | 教授 理工学術院 先進理工学部 電気・情報生命工学科 | 太陽光発電システムが多数台連係された配電系統において、既存の装置に機能を付加しただけで需要家(住宅)間の出力抑制量の不平等を是正することが出来る。各戸に設置されたパワーコンディショナー(PC)の端電圧を測定し、電力管理値の設定値との差分を算出の上、個別に電圧上昇抑制機能動作電圧を設定する。 | 第5612417号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 2024 | ものづくり技術 | 関節構造体及びロボットハンド | 准教授 理工学術院 | | | 2018/06/13 |
| 特許 | 1862 | ものづくり技術 | 3Dナノ構造界面を有する異種材直接接合 | 准教授 理工学術院 基幹理工学部 | ◆ 熱可塑性炭素繊維強化複合材料(CFRTP)の自動車車体への適用及び、生産性、リサイクル性、燃費の向上◆ マルチマテリアル化によるCFRTPとアルミニウム合金(Al)の接合技術開発◆ Al表面上のナノスパイク構造(NSS)の作製◆ CFRTPとAlのホットプレスによる直接接合◆ シランカップリング処理による接着強度の向上 | 2018-58279 | 2018/05/24 |
| 特許 | 2042 | ものづくり技術 | 樹脂金属接合体の製造方法及び樹脂金属接合体 | 准教授 理工学術院 基幹理工学部 | | | 2018/04/18 |
| 特許 | 1864 | ものづくり技術 | 熱電発電装置 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 | | 2018-37542 | 2018/04/18 |
| 特許 | 1744 | ものづくり技術 | ポーラス構造体の製造中間体及びポーラス構造体の製造方法 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 | | 2017-155271 | 2017/10/25 |
| 特許 | 1910 | ものづくり技術 | 羽ばたき型飛行機 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 | | 特開2018-144668 | 2017/06/23 |
| 特許 | 1868 | ものづくり技術 | 金属シリコン製造用アーク炉 | 教授 理工学術院 先進理工学部 応用化学科 | | | 2017/03/10 |
| 特許 | 1736 | ものづくり技術 | 多結晶ダイヤモンド上のパワーMOSFET(ダイヤモンド電界効果トランジスタ及びその製造方法) | 教授 理工学術院 基幹理工学部 | ◆多結晶ダイヤモンド(黒い)上にMOSFETを作製 ◆顕著な変調・良好なデバイス特性◆逆阻止耐圧1800Vを達成 | 2017-45897 | 2015/11/03 |
| 特許 | 1231 | ものづくり技術 | 羽ばたきロボット | 教授 理工学術院 基幹理工学部 | 羽ばたき運動を行う小型の無人飛行体(MAV)であり、フラッピングやフェザリングの角度を自由に変更出来る。 | 第5857658号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 1038 | ものづくり技術 | 金型製造方法およびその方法により形成された金型 | 教授 理工学術院 先進理工学部 応用化学科 | 自己組織化膜上に形成した無電解Niめっき膜と基板上の無機薄膜との密着力が10MPa以上50MPa以下であることを特徴とする電解厚膜金属金型を提供する。ナノサイズのパターン、三次元構造の形状についても埋め込み可能となる。 | 第5665169号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 1018 | ものづくり技術 | ガスサンプリングデバイス | 教授(当時) 理工学研究科 生命理工学専攻 | 本発明は、水素生産を目的とした光合成微生物の培養や、建材や接着剤に含まれるホルムアルデヒドやトルエンといった揮発性化学物質の測定試験で用いるフレキシブルサンプリングバッグに装着するガスサンプリングデバイスである。1つのサンプリングバッグから経時的に何度でもバッグ中のサンプルガスを採取することが出来る。 | 第5294128号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 806 | ものづくり技術 | 有機高分子製品に自己消火性を付与する改質剤およびその使用方法並びに自己消火性を有する有機高分子製品 | 客員教授(当時) 理工学総合研究センター | プラスチック、ゴム、木材、紙などの有機高分子製品において、その物性を低下させることなく簡易かつ低コストで自己消火性を付与することができる。火災時に有毒ガスを発生させるハロゲン化合物などの物質を用いないため、環境に対する負荷も極めて小さい。有機高分子製品を用いる全ての産業に利用可能で、特に住宅産業や自動車産業での利用が期待される。 | 第4332578号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 797 | ものづくり技術 | 切削研削用組成物、切削研削油剤、切削研削用ホイール及び表面改質材 | 教授(当時) 理工学術院 理工学術院総合研究所 | 本発明は、環境負荷が極めて低い鉱物微粒子を、切削・研削油剤等に分散もしくは加工工具表面に付着し加工することで、加工精度及び工具寿命の向上に寄与する。 | 第5476666号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 615 | ものづくり技術 | 木材の改質法および該方法で改質された木材 | 客員教授(当時) 理工学総合研究センター | 木材を改質する際に塗布・含浸された各種薬剤が水によって溶脱するのを抑制する。木材特有の外観および調湿性を維持したまま耐久性を向上させ、法規制のため従来は使用されなかった用途での木材使用が可能となり、木材の需要拡大や日本の森林再生に貢献することが期待される。 | 第4496034号 | 2013/12/25 |

| 種別 | シーズ番号 | 分野 | タイトル | 研究者 | シーズ概要 | 特許番号等 | 掲載日 |
|----|-------|---------|----------------------------------|---|--|---------------|------------|
| 特許 | 352 | ものづくり技術 | マイクロリアクタ及びその製造方法 | 教授 理工学術院 先進理工学部 応用化学科 | 本発明は、微小なマイクロ空間において、外部からの観察が容易であり、隣接容器間で試液同士が混合しにくく、更に、高アスペクト比の容器を有するマイクロリアクタレー及びその製造方法を提供することを目的とし、従来の課題であったマイクロ空間での試薬混合等の問題を解消する技術である。また、本発明の範囲内で、基盤及び容器の厚さ、材料及び形状、使用した溶液やエッチング等の実施形態の条件変更にも対応が可能である。 | 第4356109号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 248 | ものづくり技術 | 電荷付与体およびそれを用いたパターン形成体 | 教授 理工学術院 先進理工学部 応用化学科 | 結晶性半導体に着目し、結晶性半導体有する結晶構造を巧みに利用し、従来では困難であった微細なパターン形成を低コストで実現する技術を提供する。 | 第4614631号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 235 | ものづくり技術 | 結合水を含む複合材料 | 客員教授(当時) 理工学総合研究センター | 帯電性物質(プラスチック等)の帯電防止用材料。結合水を含む金属酸化物三次元架橋体由来の結合水の形に固定した水を含むことを特徴とする複合材料。 | 第3871999号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 163 | ものづくり技術 | 軟磁性薄膜及びその製造方法並びにその薄膜を用いた薄膜磁気ヘッド | 特任研究教授 理工学術院 | 高速書き込み可能化のため、無電解めっき法によるCoNiFeB軟磁性薄膜の高比抵抗化の検討を行ない、高 ρ を有し、かつ非常に高いBs及び低いHcを併せ持つ無電解CoNiFeB軟磁性薄膜の作製が可能となった。 | 第4041948号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 66 | ものづくり技術 | 軟磁性薄膜およびその製造方法並びにその薄膜を用いた薄膜磁気ヘッド | 特任研究教授 理工学術院 | 無電解めっき法による高いBsと良好な低保磁力を有するCoNiFe系の軟磁性薄膜を提供する。この軟磁性薄膜を用いた磁気ヘッドは高い書き込み能力を発揮する。 | 第4645784号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 44 | ものづくり技術 | 微細パターンの作製方法 | 特任研究教授 理工学術院 | 無電解メッキ浴を用いて軟磁性薄膜のパターンメッキ膜を得る際に、選択析出性の向上のため、微量の有機添加剤の添加、メッキ浴の適度の攪拌、浴中不純物の除去を行って、析出性を向上させてパターンメッキを得る。 | 第4811543号 | 2013/12/25 |
| 特許 | 2134 | 社会基盤 | 移動物体の速度検出システム、速度検出装置及びそのプログラム | 主任研究員 理工学術院 理工学術院総合研究所 | | | 2019/01/09 |
| 特許 | 2121 | 社会基盤 | グリッパ | 助教 理工学術院 | | | 2018/11/13 |
| 特許 | 2104 | 社会基盤 | ロボット、並びに、その行動計画装置及び行動計画用プログラム | 主任研究員 理工学術院 理工学術院総合研究所 | | | 2018/10/31 |
| 特許 | 2103 | 社会基盤 | ロボット、並びに、その行動計画装置及び行動計画用プログラム | 主任研究員 理工学術院 理工学術院総合研究所 | | | 2018/10/31 |
| 特許 | 2090 | 社会基盤 | ロボット、並びに、その行動計画装置及び行動計画用プログラム | 主任研究員 理工学術院 理工学術院総合研究所 | | | 2018/10/31 |
| 特許 | 2084 | 社会基盤 | 虚血性心疾患の診断支援システム | 教授 理工学術院 大学院先進理工学研究科 共同先端生命医科学専攻 | | | 2018/08/27 |
| 特許 | 2067 | 社会基盤 | 心電モニタリングシステム | 准教授 理工学術院 創造理工学部 | | | 2018/06/13 |
| 特許 | 2025 | 社会基盤 | 光学式触覚センサ | 准教授 理工学術院 | | | 2018/06/13 |
| 特許 | 1985 | 社会基盤 | 移動体の追従画像提示システム | 主任研究員 理工学術院 理工学術院総合研究所 | | | 2018/01/23 |
| 特許 | 1992 | 社会基盤 | 動物反応確認システム | 教授 理工学術院 創造理工学部 | | | 2018/01/15 |
| 特許 | 1991 | 社会基盤 | 超音波プローブ移動装置 | 教授 理工学術院 創造理工学部 | | | 2018/01/15 |
| 特許 | 1986 | 社会基盤 | 自律移動ロボット、並びに、その制御装置及び動作制御プログラム | 主任研究員 理工学術院 理工学術院総合研究所 | | | 2018/01/15 |
| 特許 | 1913 | 社会基盤 | 能動的接触力調整エンドエフェクタ | 講師 理工学術院 | | 特開2018-153898 | 2017/06/20 |
| 特許 | 1912 | 社会基盤 | 停電時の安全性を持つ可変トルクリミッタ | 准教授 理工学術院 | | 特開2018-155360 | 2017/06/20 |
| 特許 | 1911 | 社会基盤 | 可変トルクリミッタアクチュエータの制御システム | 准教授 理工学術院 | | 特開2018-158389 | 2017/06/20 |

| 種別 | シーズ番号 | 分野 | タイトル | 研究者 | シーズ概要 | 特許番号等 | 掲載日 |
|----|-------|---------------------|---------------------------------|---|---|---------------|------------|
| 特許 | 1616 | 社会基盤 | MR流体を用いたバックドライバブルアクチュエータ | 主任研究員 理工学術院 理工学術院総合研究所 | 高応答・高出力・安全性が求められる次世代のロボットシステムには、予期しない外力の付与に対して迅速に応答可能な柔軟性を有する新たなアクチュエータが要請されている。本シーズは、応答時間の短縮化を図るとともに、比較的簡易な構成で柔軟性を発揮させることができるバックドライバブルアクチュエータを提供することにある。 | 特開2016-142320 | 2017/02/20 |
| 特許 | 1879 | 社会基盤 | 指先用の3軸力センサ | 准教授 理工学術院 | | | 2017/02/09 |
| 特許 | 1872 | 社会基盤 | MR流体を用いた逆可動性を有するロータリアクチュエータ | 主任研究員 理工学術院 理工学術院総合研究所 | 高応答・高出力・安全性が求められる次世代のロボットシステムには、予期しない外力の付与に対しても迅速に応答可能な柔軟性を有する新たなアクチュエータが要請されている。本シーズは、応答時間の短縮化を図るとともに、比較的簡易な構成で本質的な柔軟性を発揮させることができる逆可能型のロータリアクチュエータを提供することにある。 | 特開2018-71776 | 2016/12/06 |
| 特許 | 1846 | 社会基盤 | ロボット用 マルチモーダルセンサ | 准教授 理工学術院 | | | 2016/09/07 |
| 特許 | 1805 | 社会基盤 | 山林内における路網自動生成及び施業計画作成に関するシステム | 客員教授(当時) 理工学術院 大学院創造理工学研究科 | 等高線地図から、3D地図を作成し、そこに山林内情報を埋め込む。自然条件や作設(林業用の道の建設)条件、施業方法(林業の仕方)等から、作成した3Dに、路網を自動生成する。また生成した路網と山林内情報を可視化する。また、路網の自動生成とともに、コストを含む施業計画の提案がなされる。 | 2017-201936 | 2016/06/08 |
| 特許 | 1804 | 社会基盤 | 歯磨きロボット | 教授 理工学術院 | | | 2016/04/11 |
| 特許 | 1569 | 社会基盤 | 創造的人工脳 | 教授 理工学術院 基幹理工学部 | 従来型コンピュータは将棋チェスをするものや入試問題を解くものも含めてどれも、決められた仕事を早くこなすためのものであった。ヒトのようなアイデアを出せる人工知能を目指す第一歩として、ヒトの脳の神経細胞群の結合様式(空間パターン)を実験的に解明する研究が進められているが不明であった。そこで、化学反応論と分子生物学のデータを体系的に分析したところ、その解明ができた。 | 特開2016-24637 | 2016/03/18 |
| 特許 | 1556 | 社会基盤 | 半側空間無視の注意再獲得支援システム | 教授 理工学術院 創造理工学部 | 半側空間無視患者に対するリハビリテーションを支援するためのシステムであり、訓練用画像内の一部領域のみを視認可能にするスリット領域を移動、拡大させるように訓練者に提示することで、訓練者の訓練用画像に対する注意部分を移動させる。これにより、訓練者は、「固定」、「解放」、「移動」の各能力を増進させることが可能になる。 | 特開2015-221185 | 2016/01/06 |
| 特許 | 1552 | 社会基盤 | 静的ストレッチングの評価システム | 教授(当時) 理工学術院 創造理工学部 総合機械工学科 | 筋を伸張しながら所定の身体部分を一定姿勢で維持する場合に、当該身体部分の筋部位について、応力緩和の影響を除外し、筋粘弾性の継時的変化のみから、筋部位の継時的な状態変化を検出するシステムである。 | 特開2015-221122 | 2016/01/06 |
| 特許 | 1761 | 社会基盤 | ロボット制御装置 | 教授(当時) 理工学術院 創造理工学部 総合機械工学科 | | | 2015/12/10 |
| 特許 | 1749 | 社会基盤 | 血液濾過器の流れの可視化試験装置 | 教授 理工学術院 大学院先進理工学研究科 共同先端生命医科学専攻 | | | 2015/11/05 |
| 特許 | 1488 | 社会基盤 | 分散設置型インタラクティブ運動支援システム | 教授 理工学術院 創造理工学部 | 参加者の運動を運動中に評価し、適切さについてのフィードバックを複数の画像などの感覚情報として与えることにより、参加者が運動の不適切さに気づき、自身で適切な運動を形作っていけるように誘引するシステム | 特開2015-100458 | 2015/07/10 |
| 特許 | 110 | 社会基盤 ものづくり 技術 | 木質改質剤 | 客員教授(当時) | 木材本来の長所は生かし、寸法の狂い、吸水性、燃えやすさ等の欠点を改質する薬剤です。 | 第3992899号 | 2014/06/12 |
| 特許 | 1077 | フロンティア | 光陰極高周波電子銃、および光陰極高周波電子銃を備えた電子線装置 | 理工学術院 先進理工学部 応用物理学科 | 現状の光陰極型高周波電子銃(RF-Gun)の構造に新たに電子ビーム幅を圧縮するための空洞を設け、加速位相を調整させるようにしたもの。電子ビームの時間幅を圧縮できるバンチング効果があり、超短パルスの電子ビームが生成できる。 | 第5544598号 | 2013/12/25 |

| | |
|----------------|---|
| お問い合わせ先 | 早稲田大学 産学官研究推進センター TEL : 03-5286-9867 FAX : 03-5286-8374 E-mail : contact-tlo@list.waseda.jp URL : https://www.waseda.jp/top/research/tlo |
|----------------|---|